

視点 View Point

酒井 信治 氏

公益社団法人南長野青年会議所
2026年度理事長

今年、南長野青年会議所の創立65周年、認承55周年の節目の年です。継続事業であるわんぱく相撲、JCI-KOREA西大邸との国際交流のほか、まちを地域全体で盛り上げる記念事業も計画しています。会員の減少に伴い、私たちだけでは手が回らないこともあり、長野商工会議所はじめ皆様のお力をいただきながら、南長野地域のために青年会議所だからできる活動を模索していきます。



創立65周年・認承55周年の節目に 「歴史を繋ぎ、次代を作る」

スローガンは
「歴史を繋ぎ、次代を作る」

南長野青年会議所の2026年度理事長に就任されました。抱負をお聞かせください。
酒井 私は2016年に南長野青年会議所の準会員に、翌2017年から正会員となりました。入会10年目の節目に理事長へご推薦いただいたわけですが、歴代の理事長や先輩方の勢いある活動をこれまでずっと二会員として拝見しており、青年会議所は地域のために活動をしっかりとやっている団体だと感じていました。私自身は、人の上に立つて積極的に組織を引っ張っていくタイプではありませんが、せっかくご推薦いただきましたので、メンバーが少なくなるなかではありますが、これまで先輩方がつくってこられた青年会議所の活動を継続し、地域のためにできることを模索していきたいと考えています。

今年度のスローガンは「歴史を繋ぎ、次代を作る」としました。南長野青年会議所は、今年で創立65周年、認承55周年の節目を迎えます。その歴史において、私たちは青年会議所の理念「明るい豊かな社会の実現」のもと、ずっと活動を続けています。折々の会員が、時代と地域の声に応えてやってきた活動はそれぞれ違っても、その根底にはより良い地域を目指す変わらない思いがあります。一つの節目である今年も、その変わらない思いを引き継いで、私たちに今求められることを着実に実現することで、地域全体でまちを盛り上げ、その思いと価値を次年度以降に繋いでいきたいと思っています。

どんなに会員数が減少しても、青年会議所の存在が決して不要となったわけではありません。

酒井 長野商工会議所、特に篠ノ井支部には、わんぱく相撲をはじめ青年会議所の活動へ日ごろ多大なご協力をいただいております。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。長野商工会議所も地域の発展のために尽くされており、その理念とするところは私たちと同じです。先ほどより申し上げている通り、南長野青年会議所は会員数の減少で事業が手広くできない状況にありますので、長野商工会議所をはじめ、行政、他にも多くの皆様のお力をいただきながら、この地域の発展に寄与できたらと願っています。

南長野青年会議所は、「明るい豊かな社会の実現」をコンセプトに、おもに篠ノ井地域を中心として、20歳から40歳という年齢を制限として会員が活動をしています。その活動のなかでは、私自身、事業の組み立て方、段取り、組織運営の仕方などで多くを学び、また青年会議所活動で広がった交友から得たものも少なくありません。私たちの理念に共感し、一緒に活動いただける方がいらっしゃったら、会社員でも会社経営者でも自営業者でも、お立場は問わず、どなたでも歓迎いたします。ぜひご連絡ください。

長野市に2つの青年会議所が存在し、犀川以南において私たちが活動を続けていることに意義はあり続けると私は信じます。

創立65周年・認承55周年の 記念事業を実施

ご紹介いただいたスローガンのもと、今年度はどんな事業を企画、予定されていますか。

酒井 南長野青年会議所は、青少年育成事業、社会開発事業、人材育成事業、国際交流事業という4つの事業を柱に、地域のより良い発展を目指して活動しています。

このうち青少年育成事業は、地域に暮らし、いざれ大人となつて地域を背負って立つ子どもたちが健全に成長することを期して、その成長の糧となる経験の場をつくるのが目的です。今年度も継続事業としてわんぱく相撲を実施します。南長野運動公園で例年5月に実施する小学生による相撲大会で、全国大会へ向けて努力すること、勝ち負けにとらわれずに礼節を含め相手思いやる気持ちや学ぶことは、子どもたちが今後長い人生を歩むにあたり有意な経験になっていると思います。

社会開発事業は、地域の健全な発展に寄与する事業です。長野市の犀川以南の地域には、13万人を超える人が居住し、社会生活を送っています。また、この地域には多くの自然や歴史の資産

があり、ランドマークとも言える建物も点在しています。地域社会の発展は、その課題解決のみならず、地域に備わる利点を見出し、伸ばすことによっても達成できるのではないのでしょうか。青年会議所だからできる、地域を盛り上げる事業を南長野青年会議所の節目の記念事業として計画しています。

国際交流に関しては、1984年の姉妹締結以来、大韓民国のJCI-KOREA西大邸との交流を続けています。歴史的、政治的な軋轢が見え隠れするなかにあつても、その繋がりを絶やさないことは、自らとは異なる国や文化を背負う人との相互理解を深めました。今年、昨年できなかった訪問を予定し、また、7月に計画している創立65周年認承55周年記念式典には、西大邸のメンバーをお招きすることも考えています。

人材育成事業で例年行っていた異業種交流会やセミナーは、現在の会員数では残念ながら実施できないかもしれません。しかし、青少年育成や地域開発など他の事業の企画、運営を通して、会員一人ひとりが自己研鑽に努めながら成長すること、その能力を次の活動に生かす、好循環を生み出したいと願っています。

20〜40歳の方なら どなたでも歓迎いたします。

長野商工会議所や行政、地域との連携について、どのようにお考えですか。

DATA
公益社団法人南長野青年会議所
[設立] 1961(昭和36)年
[所在地] 長野市篠ノ井布施高田895-1
[TEL] 026-292-2310
[活動内容] まちづくり、ひとづくり、青少年育成、国際交流

横顔

趣味といえる趣味はないと話す。昔は自作パソコンづくりに熱中したそう、昨年も久しぶりに1台組み立てたとのこと。